



題字：鳩山威一郎

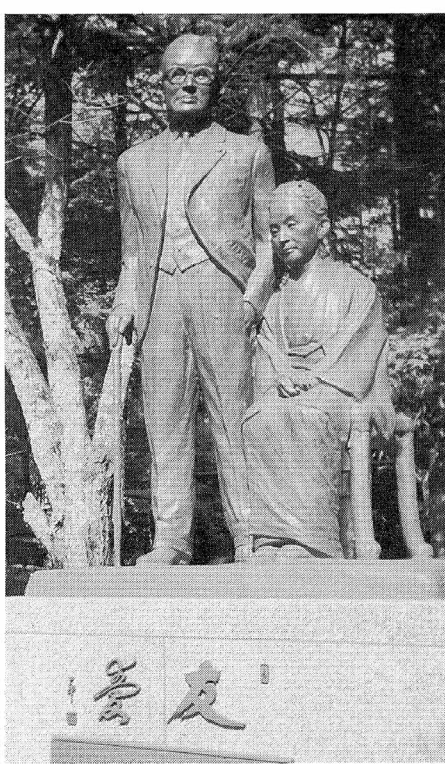
機関紙「友愛」
発行所
(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 松本ビル2階
TEL: 03-5684-3188
FAX: 03-5684-3186
発行人：川手正一郎
編集人：鶴巻 克雄
隔月1回 10日発行
購読料
年額 3,000円

鳩山一郎・薫先生銅像遷座竣工式挙行

思い出の地 軽井沢友愛山荘へ

日ソ共同宣言調印五〇周年を契機に行われた鳩山一郎・薫夫妻の銅像の遷座は、音羽からの転出につづき、軽井沢への搬入と、とことろなく行われた。
奇しくも本年末には、日ソ共同宣言調印五〇周年を記念し、ロシアから一郎先生の銅像が贈られることが決まっております。一郎先生を讃えるに相応しい年となった。

十月七日(土)長野県北佐久郡軽井沢町の「軽井沢友愛山荘」において、鳩山一郎・薫先生の銅像の遷座竣工式が執り行われた。
これは、文京区音羽の護国寺にあったものを、日ソ共同宣言調印五〇周年を機に軽井沢に移築したものである。(友愛 四八二号・九月一〇月号にて詳細既報)
軽井沢友愛山荘があるのは、かつて鳩山一郎先生が耕され、畑として活用されていた土地である。一郎先生が友愛運動を提唱された際、青少年育成の場として提供され、現在の建物を建築した。日本友愛青年協会の前身「友愛青年同志会」の拠点としても活用された思い出の地である。
竣工式は、鳩山安子名誉会長を施主として行われ、



井上和子副理事長が名代を務められた。
式典は神式で行われ、一郎先生のお孫さんの一人、寺本満喜子さん、川手正一郎、鶴巻克雄の両事務理事、中川治男理事を始め、関係各位が集って執り行われた式典であるが、参加者は皆鳩山一郎・薫先生への思い溢れる縁をもつ方々、莊厳さのなかにも、暖かみと和やかな雰囲気が漂い、「友愛」らしい式典となった。
歴史に残る政治家・鳩山一郎先生が、若き血を熱く滾らせ国を思った時も、追放の身となり晴耕雨読の日々をおくった時期も、すべてを包み込んだのは軽井沢の自然であった。
いま時を経て、一郎先生がこよなく愛した軽井沢に、最愛の伴侶薫先生とともに、再び帰って来られた。
南を向いて建立されたお二人の銅像は、陽光を受け輝き、色を増す木々のもとで、お二人の情熱をたたえたままの姿で建っている。
現在、軽井沢友愛山荘は、研修などの宿泊施設として運営されている。軽井沢にお出掛けの際には「友愛」を唱え続けたお二人との出会いを楽しみにいらしていただきたい。(友愛山荘は十一月末から来春三月末まで休館・四面記事参照)

日ソ共同宣言議定書調印50周年 日本友愛青年協会 記念事業 日ロフォーラム出席 モスクワ大学訪問交流 友愛訪ロ団 元気に成功裏に帰国

十月十九日(木)日ソ共同宣言五〇周年記念フォーラムがモスクワ市庁舎大会議室で開催された。
このフォーラムには、本協会からも訪ロ団を派遣、鶴巻克雄事務理事を団長に、学生を含む三十二名で結成された一行は、全員フォーラムに参加、五〇年目の歴史の証人となった。
「日ロフォーラム」で共同議長を務める鳩山由紀夫理事長、写真前列左とモスクワ市長、写真前列右。



「日ロフォーラム」で共同議長を務める鳩山由紀夫理事長、写真前列左とモスクワ市長、写真前列右。

五〇周年の記念に、ロシア側から、ロシアの著名な彫刻家スラブ・K・ツェリテリ氏製作の「鳩山一郎先生の銅像」が贈られることが発表された。銅像は、年内に日本に到着する。
訪ロ団の一員として参加された、新島学園短期大学・井上伊都子教授にご執筆いただいた「同行記」および参加学生の感想文(二面)をご紹介します。

十月十九日、日ソ共同宣言五〇周年記念フォーラムが「日ロ協会」及び「ロシア21世紀委員会」共同主催のもと、モスクワ市庁舎大会議室で開催された。
日本から一六五名が参加し、日本からは日ロ協会会長の鳩山由紀夫衆議院議員を始めとする北海道、埼玉、東京、千葉、栃木、静岡の、各日ロ協会、下斗米法政大学教授をはじめとする学術会議、及び日本友愛青年協会、鳩山会館等百六十余名が参加した。
ロシア側は、ロシア21世紀委員会会長であり、モスクワ市長のルシコフ・ユーリー・ミハ일로ヴィッチ氏(ロ日賢人会議ロシア側座長)を始め連邦八九の主な共和国、地方、市、自治管区から二〇〇名余りが参加した。
鳩山由紀夫理事長基調講演フォーラムは、全体会合及び第一セッション(政治関係)、第二セッション(経済関係)、第三セッション(文化・人的交流)の合計四セッションで十時から十八時まで実施された。
全体会合で、日本側の代表鳩山由紀夫氏、ロシア側の代表ルシコフ氏が基調講演を行った。
二面につづく

友愛時評

▼天気が良いので奈良に行ってきた。春と秋に、三四泊くらいで毎年出掛ける。なぜそんなに往くのかと聞かれたので、好きだからと答えた。相手はボカンとしていたが、味も素っ気も無い返事だから当然であろう。▼同じところでも、二度も三度も行く。十数回も行った「二月堂」の舞台は多い方だろう。飛鳥(あすか)の石舞台や、浄瑠璃寺などにも多い方だ。▼同じところにも何度行っても、季節と時間(朝と夕暮れなど)によって、新しい発見と共に、感想も違ってくる。今回は「新薬師寺」「白毫寺(びやくこうじ)」へ行ったが、後者は五十年前とすっかり変わっていたが、前者は半世紀前とほとんど同じだった。変わったところは庫裏(くり)の方で湯どうぶつがあります。と張り紙があつたくらいである。▼戒壇院の近くにある「依水園」の回遊式庭園を歩いていると、顔に触れるそよ風と共に、足下で水の音がする。広さ四千坪の庭園である。▼その近くで、喜多さんという陶芸家が「しもた家」風の住まいで作品展をやっていたので入ってみた。そこでお茶とお菓子が出た。その気持ちで嬉しくて、思わず盆の上に茶代を置いて返しに來た。後で追っかけて返して取ってもらえなかった。これが今の奈良であらうか。(ふ)

平成十八年度文部科学大臣奨励賞 友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選出演者決まる!



去る十月十六日(月)コンクールの第一次予選が、牛込区民ホールにて行われた。翌々十八日(水)に、第二次予選が旧東京音楽学校楽堂に於いて開催された。

全国各地から優れた応募者総勢五十一名を迎え、第一次予選よりレベルの高い予選会となった。

島崎昭代本協会評議員を始めとする七名の審査員により厳しい審査が行われた。結果、一次、二次の予選を通過した十名により、

十一月二十四日(金)旧東京音楽学校楽堂にて本選が開催される。

当日は、本選終了後、本協会と姉妹関係にあるオーストリア勤労青年連盟(OJAB)より、推薦をうけたドンカ・ディサンスカさん(ヴァイオリン)の演奏会も開催される。

チケットご希望の方は、友愛事務局まで、

本選出演者
(学生の部)
・クリステン・ウィットマー

東京芸術大学音楽学部在学中
・溝淵悠理
京都市立芸術大学在学中
(一般の部)
・吉川かおり
国立音楽大学大学院修了
・阿部大吾
武蔵野音楽大学大学院修了
・中西美友紀
東京芸術大学大学院在学中
・忠田友子
東京音楽大学大学院修了
・宮西央子
大阪音楽大学大学院修了
・坂上賀奈子
東京芸術大学大学院在学中

本選のお知らせ
日時: 11月24日(金)
開場: 午後4時30分
開演: 午後5時
会場: 旧東京音楽学校楽堂
交通: JR上野駅公園口下車10分
入場料: 2千円
お問い合わせ: 友愛事務局
03(5684)3188

・竹内公一
東京芸術大学中退
・八木寿子
京都市立芸術大学大学院修了

日ソ共同宣言議定書調印五〇周年記念事業 ソ連訪問。その時の鳩山一郎

同行秘書、石橋義夫さんに聞く

鳩山一郎先生がきっかけを創られたロシア(旧ソ連)との関係が、今改めて見直されている。ソ連訪問に同行し、その一部始終をつぶさに見ておられた石橋義夫さんに、お話を伺いました。

懸けていたから。
——テレビの番組や、昔の二ユーエス映画の映像を見ると、一郎先生に寄り添うように、常に石橋さんの姿が映し出されています。一郎先生は、体力的に大変だったのですか。

石橋 ええ、基本的にはドクターストップがかかっていた状態でした。眞先生も「鳩山は桐の箱に入って帰ってくる」と言われていた。よく出来ていて、あの通りです、事実。

一郎先生のなさったことは、色々な意味で評価されて当然だと思います。本当に命



懐かしさにアルバムを繰りながら当時の話を石橋義夫さんと共立女子学園理事長室にて

一郎先生がいらいした昭和三十一年は、川手君も『友愛』に書いておられたが、マニラ、バンコク、カラチ、アバダン、チュリッヒと経由していったんです。途中給油の時間があつたから、その間はみな飛行機から降りて、コーヒーを飲んだりしているのです。

石橋 ええ、周間の辺りを切つてしまつて、血は流れるし、大騒ぎ。とは言つても、一郎先生のごく近くにいたものしか知らないのですが、同行の医師が、絆創膏を貼つて、手を当してくれました。

翌朝、記者が沢山一緒に来ていましたから、何と説明し



モスクワ到着、空港で第一声を発する鳩山一郎先生、ソ連の重鎮がごぞつて迎えてくれた

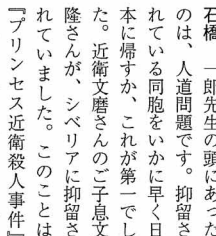
モスクワ到着、空港で第一声を発する鳩山一郎先生、ソ連の重鎮がごぞつて迎えてくれた

——終戦後数年経つてるとはいえ、ソ連に対する日本国民の感情は、良好とはいえない。その時期ではないのですか。

石橋 その通りです。不可侵条約の事もありませんでした。しかし、一郎先生が総理になられた際、三つの事を掲げました。一つは、公邸廃止。二つ目は、護衛の廃止です。無駄を省く目的もありました。三つ目は、勤務時間中のゴルフ、麻雀の禁止です。要は、遊興接待をする事も、受ける事も禁止した訳です。政治家は、己の命を賭して国家のために働くのだ、というのが信念でした。だから護衛は要らないといふことでもあったのです。

——そんな思いでソ連を訪れた病身をおしえていらつした一郎先生の思いは、どこにあったのでしょうか。

石橋 一郎先生の頭にあったのは、人道問題です。抑留されている同胞をいかに早く日本に帰すか、これが第一でした。近衛文相さんの子息文隆さんが、シベリアに抑留されていた。このことは「プリンセス近衛殺人事件」に詳しく書かれていますが、一郎先生は近衛さんとは昵懇で、奥様の千代さんからも文隆さんのことを聞いておられたんです。一郎先生が、



「私はただいまモスクワに到着しました」と、我ここに立って、それから数日間、調印までの外交的緊張感は大変なものでした。今度西へ帰りは帰りで、今度は西回り、地球を一回りする旅だつたんですね。

石橋 帰りはモスクワからストックホルム、そしてパリへという順でした。アメリカに寄つて挨拶したいというのもありました。先にイギリスに寄つて首相にあつて説明しよう、と、ダウニング街十番地(首相官邸)を訪ねました。次にニューヨークへ飛んだの

——終戦後数年経つてるとはいえ、ソ連に対する日本国民の感情は、良好とはいえない。その時期ではないのですか。

石橋 その通りです。不可侵条約の事もありませんでした。しかし、一郎先生が総理になられた際、三つの事を掲げました。一つは、公邸廃止。二つ目は、護衛の廃止です。無駄を省く目的もありました。三つ目は、勤務時間中のゴルフ、麻雀の禁止です。要は、遊興接待をする事も、受ける事も禁止した訳です。政治家は、己の命を賭して国家のために働くのだ、というのが信念でした。だから護衛は要らないといふことでもあったのです。

——そんな思いでソ連を訪れた病身をおしえていらつした一郎先生の思いは、どこにあったのでしょうか。

石橋 一郎先生の頭にあったのは、人道問題です。抑留されている同胞をいかに早く日本に帰すか、これが第一でした。近衛文相さんの子息文隆さんが、シベリアに抑留されていた。このことは「プリンセス近衛殺人事件」に詳しく書かれていますが、一郎先生は近衛さんとは昵懇で、奥様の千代さんからも文隆さんのことを聞いておられたんです。一郎先生が、

「私はただいまモスクワに到着しました」と、我ここに立って、それから数日間、調印までの外交的緊張感は大変なものでした。今度西へ帰りは帰りで、今度は西回り、地球を一回りする旅だつたんですね。

石橋 帰りはモスクワからストックホルム、そしてパリへという順でした。アメリカに寄つて挨拶したいというのもありました。先にイギリスに寄つて首相にあつて説明しよう、と、ダウニング街十番地(首相官邸)を訪ねました。次にニューヨークへ飛んだの



ソ連(当時)の新聞プラウダは、一面トップ記事で調印式の模様を伝えた。総理の右後方が石橋さん。一部始終を見届けた

友愛 ほんだな

ニッポン人脈記 1

女がはたらく

朝日新聞社刊 文庫版 600円(税別) 408頁

「人は一人では生きていくのではない。人を個人でなく、人と人のつながりの中で描きたい」本書の冒頭に書かれている言葉である。

二〇〇五年四月一日から始まった朝日新聞「ニッポン人脈記」をまとめて上梓されたのが「ニッポン人脈記1」と題された本書である。「1」とあるのは、続編が予定されているからで、今回は副題別に、「女がはたらく」「国家再建」の思想「市民と非戦」などを章立てにし、読みやすく整えてある。

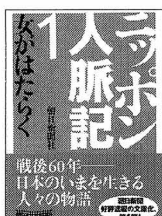
まえがきにある通り、実に様々な人が登場し、それはそのまま戦後昭和史となつて、読む者の興味を惹く豊富な写真も、登場人物の

表情が見えて面白い。惜しむらくは、新聞掲載当時の写真を用いているため、大々、トリミングがまちまちで、欲求不満にかられるところがある。

戦後昭和史ではあるが、時系列ではなく、年表式でもない、生きた人間の歴史がそこにはある。そして人間の行動こそが歴史を創つてことを物語っている。だからといって登場する人物は大物政治家、経済人、有名人だけではない、いやむしろそういった人々の方が少ないと言える。いわゆる市井の人々も多く登場し、そ

うした人々が歴史を創つてきたのだと改めて思い知らされる。同時に、人と人のつながりの妙、人と人が力を合わせ、一プラス一が十にも二十にも力となる事、人が意気に感じての行動が生み出す創造力の素晴らしさなど、人間ならではの楽しさを知る。

プロローグとして女優吉永小百合さんが登場している。彼女は現在「原爆詩の朗読」「映画人九条の会結成」などの活動をしている。しかし、「サユリスト」の言葉もあるように女優としての一世風靡は、誰しも知



るところであろう。終戦の年に生まれたという彼女の人生は、そのまま戦後昭和史であり、ここに本書の方向性が集約されていると言えるだろう。

第三章「国家再建」の思想」には友愛の方々には馴染み深い川手正一郎さんも登場している。一気に読める興味深い良書である。(エム)

日ソ国交回復の今日的意義

最終回

法政大学教授
下斗米 伸夫

ソ連と中国の関係

前回は、フルシチョフが「平和共存路線」をとったとお話しました。それはアメリカと諸国を必要以上に結びつけさせないためのものでありましたが、その実現のために、フルシチョフはかなり考え方の違う毛沢東のもとを一九五四年(昭和二十九年)に訪れています。そして大連や旅順にいたソ連海軍を引き揚げました。毛沢東は、そのとき「核を持したい」といったわけで、核兵器を。しかし毛沢東

にあらならブレキをかける。そういう中で、鳩山総理、河野農林水産大臣が中心となつて交渉が行われた訳です。しかし、河野農林大臣の秘書であった石川さんという方が、去年、ほぼ正確な文書を公開いたしました。これによつて新たな解つたことがありま

う解釈が今、日本の歴史家たちの間では重要で、重要なこととあります。ソ連は重要で、特にあるところの国内事情は複雑でした。政治局員というトップの官僚たちの勢力の対立もありました。

そんな折、フルシチョフは共産党大会でスターリンの批判をやつたわけで、国内の

の反乱が起きてしまひました。ポーランドにソ連軍を入れたかどうかのために、鳩山総理との署名式にフルシチョフ第一書記は欠席します。

松本全権といふのは、外務省の要人です。松本全権といふのは、外務省の要人です。松本全権といふのは、外務省の要人です。

「領土問題を含む」という、この関係というのには複雑で、今でもそうですが、毛沢東が「金日成は反対派を抑圧しているのだから」と。替えていうと、フルシチョフが「出しているわがたが、五十六年交渉は決して二島論ではない。日本側の立場は、あくまでも領土問題は二島では終わらないという、こういう考え方です。

そういうわけでいかに鳩山総理の代表団が厳しい環境の中で交渉したか。アメリカの反乱が起きてしまひました。ポーランドにソ連軍を入れたかどうかのために、鳩山総理との署名式にフルシチョフ第一書記は欠席します。

松本全権といふのは、外務省の要人です。松本全権といふのは、外務省の要人です。松本全権といふのは、外務省の要人です。

友愛婦人会だより

補助犬が活躍するくすのきの郷
友愛婦人会がとりもつ縁

文京区立特別養護老人ホーム「くすのきの郷」で、友愛婦人会がボランティア活動を行っていることは、前号でご紹介しました。ここでは、補助犬(写真右)が入所者と一緒に生活し、大活躍をしているのです。

動物と一緒に暮らす、動物とふれあうことが、痴呆症の抑制につながる、あるいはお年寄りの生き甲斐を見いだす一助となること、近年の研究で明らかになっています。このことに



柏木施設長・大活躍の補助犬ビニー号。くすのきの郷にて

注目し早速補助犬の導入を実施されたのが、柏木施設長です。柏木施設長(写真左)は、特別養護老人ホームの仕事を永年携わつてこられた方で、新たな試みを次々実施されておられる、第一人者です。

補助犬の導入を思いついたものの、いったいどこからどうやって、補助犬を手でできるのか、具体的な方法は全く思いつかなかった

カは、グレス国務長官が、当時は国務省の顧問です。もし日本が中途半端な妥協をしたら沖繩は返さない」といって圧力をかけていました。また、抑留者の方の問題、あるいは日本が国連に加盟して、国際社会に与るという事も含めて、日本外交のいわば頭脳、英知を振り絞つて交渉された鳩山両議員に期待

我々はこの問題から教訓を得て、鳩山総理がなさつたような、構想を持つて隣国ときちんとした関係をつくる、仲よくすることがいかに大切かを学ばなければなりません。ロシアからエネルギーが来る時代が早晩来るわけですから

が、私は、隣の国をあんまりエネルギーとか貿易で考えるのは良くない、隣の国は要するに隣の国として見る姿勢が一番重要ではないかと思ひます。

鳩山由紀夫議員、鳩山邦夫議員のお二人が、一番この問題に詳しいし、恐らく日本の外務省よりも、最適なのは鳩山さんじゃないかと思つております。おじいさんが始められた「国交回復」という事業をお孫さんが完遂されることを、私も、別に同級生という訳ではありませんが、応援したいと思つております。

ありがとうございました。(完)

朝晩の冷え込みとともに、冬の訪れが感じられる頃となりました。

沢山の皆様にご愛用いただきました「軽井沢友愛山荘」も、冬季休業の季節になりました。

春の訪れと共に再開いたします。来春、皆様にお越しただけをすることを待ち申し上げております。

休館：十一月末〜三月末
営業開始：四月一日より

友愛山荘冬季休館

「それというのも、友愛婦人会さんとの縁からですから、本当に嬉しいことです」と締め括つた。

NPO法人日本補助犬協会障害者のより充実した生活をサポートするための補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を総合的に育成する日本初めての団体。

のです」と語る柏木施設長。そんな中、NPO法人日本補助犬協会(会長・鳩山本輔夫)の活動を見学した友愛婦人会の一人が、それならばと橋渡し。実際に補助犬がやって来るにあつては、犬が大好き、犬と会話できる程という人材が職員にならなくてはならない。とできた事も幸ひした。

「初めてのことで、まず犬との接し方など、一から職員全員が修得するようにはしました。犬と接することで、こんなに大きな変化が生まれるとは思つていませんでした。嬉しい誤算です。人と人の交流も和やかになりました」と柏木施設長は、補助犬の導入を評価している。